

千葉教育

萩

令和2年度
No.663

千葉の子どもたちの未来のために

特集

道徳教育の充実に向けて

○シリーズ 現代の教育事情

麗澤大学大学院学校教育研究科道徳教育専攻准教授	鈴木 明雄
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官	浅見 哲也
県教育庁教育振興部学習指導課	
県立大多喜高等学校	

○提 言

株式会社BOOT BLACK JAPAN代表取締役社長	長谷川裕也
-----------------------------	-------



千葉県総合教育センター

- ◆学校自慢 「誰もが安心して暮らしていける街」への小さな一歩 県立館山総合高等学校校長 渡邊 嘉幸
 ◆提言 危機を乗り越えられる人間 株式会社 BOOT BLACK JAPAN 代表取締役社長 長谷川裕也…2

シリーズ 現代の教育事情 道德教育の充実に向けて

- 主体的・対話的で深い学びができる生徒の育成～問題解決的な道德科によるカリキュラム・マネジメントの構築～
 麗澤大学大学院学校教育研究科道德教育専攻准教授 鈴木 明雄…4
 ■今、道德教育で求められていること 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也…6
 ■「いのち」のつながりと輝き～千葉県における道德教育～ 県教育庁教育振興部学習指導課…8
 ■学校の教育活動全体で道德を～心の免疫力を高め、生徒も教職員も生き生きと～ 県立大多喜高等学校…10

私の教師道

- 学校を創る 平時の校長、有事の校長 浦安市立富岡小学校校長 勝田 秀樹…12
 ■学校を支える チーム・組織として進める学校運営 四街道市立旭中学校教頭 米元 賢志…14
 ■学校を動かす 「つなげる」「つながる」をテーマとして 県立仁戸名特別支援学校主幹教諭 高橋 敬子…16
 ■子供を知る コミュニケーションの大切さ 松戸市立六実小学校教諭 西川 琢麻…17
 ■子供を知る 初任者研修を通じて学んだこと 市川市立第四中学校教諭 山崎 浩之…17
 ■授業を創る 主体的に考え、互いに認め合う道德授業を目指して 睦沢町立睦沢小学校教諭 山内 ゆり…18
 ■授業を創る 一斉指導の中で有効なユニバーサルデザイン教育とは～板書とノート整理を中心に～ 県立生浜高等学校教諭 上原 美和…20

活・研究 長期研修生からの報告

- 小学校編 見方・考え方を育て機能的に言語運用する語彙指導の研究～継続した言葉の収集と個人文集作りを通して～
 木更津市立請西小学校教諭 迫田 直哉…22
 ■小学校編 道德的判断力を高める指導の工夫～現代的な課題を取り上げた教材開発と授業実践を通して～
 香取市立小見川中央小学校教諭（前香取市立津宮小学校教諭） 大川 珠代…23
 ■中学校編 目的に応じて表現方法を選択できるようにするための「比例と反比例」の指導
 一題材の精選、ふきだしの活用、伝え合う活動に着目して～
 流山市立南部中学校教諭（前流山市立常盤松中学校教諭） 浅沼 克俊…24
 ■高等学校編 高等学校における国際理解を視野に入れたアジアの諸民族の音楽についての教材化に関する研究
 一生徒の実感を伴った音楽体験を目指して～
 県立茂原高等学校教諭（前県立千葉商業高等学校教諭） 岩上 真弓…25

ケーススタディ

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入と課題について 和洋女子大学特任教授 柴内 靖…26

保幼小の連携

- 幼児期から中学までを見通して子供を育てる「チーム日の出」の取組 浦安市立日の出幼稚園長 中島麻美子…28

教育の情報化

- 小学校プログラミング教育コンテンツの紹介～授業プラン6 3年国語「へんとつくり」～ 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当…29

情報アラカルト

- 次世代を担う子供たちの育成を目指して ～新しくなった学力向上プラン～ 県教育庁教育振興部学習指導課…30
 ■県立関宿城博物館25周年記念企画展「関東のへそ～地勢とくらしのヒストリー～」 県立関宿城博物館…32
 ■千葉県児童生徒・教職員科学作品展から全国展へ 県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育担当…33

学校 NOW！

- 先進校の取組 道德教育を楽しむ 長生村立八積小学校…34
 ■学校歳時記 「個に応じる指導」と「個別最適化された学び」 千葉大学教育学部特任教授 天笠 茂…36
 ◆発信！特別支援教育 特別支援教育講演会のお知らせ「障害者とともに生きる」～地域共生社会を目指して～ 県総合教育センター特別支援教育部…38
 ◆千葉歴史の散歩道 印旛郡酒々井町周辺の初期荘園の遺跡 県教育庁教育振興部文化財課埋蔵文化財班長 木原 高弘

道 標

新型コロナウイルス感染症の脅威は、社会の仕組みや日常生活を一変させた。この一連の動きの中で、社会はいかにあるべきか、社会との関わりにおいて自己はいかにあるべきか、改めて考えた読者は多いであろう。

このような中、自らの人生や社会における、答えが定まっていなかった問いに対し、受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手としての資質・能力を育むため、道德教育の果たす役割はますます大きくなっていると感じる。

これまで国は、道德教育の抜本的改善・充実に取り組み、平成30年度には、小学校の道德が教科化され「特別の教科 道德」となった。（中学校は令和

元年度から）

一方、県教育委員会においては、映像教材の作成や高等学校への「『道德』を学ぶ時間」の導入など全国に先がけて取り組むとともに、令和2年3月には、学習指導要領の改訂や義務教育における道德の教科化、第3期千葉県教育振興基本計画等を踏まえ、「千葉県道德教育推進のための基本的な方針」を改訂した。これらを受け、各学校においては、地域や学校の実態を踏まえながら、日々、道德教育の実践に努めているところであろう。本号では、これまでの実践の蓄積を振り返り、道德教育の現状を確認し、今後の一層の充実に向け、どのような取組が必要か考えていきたい。